

研究課題名	Clinical outcomes and usefulness of MatrixORTHOGNATHIC LOCK System In orthognathic surgery.
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科口腔外科学 教授 相川友直
研究期間	許可日 ~ 2026年 3月 31日
対象者	2023年4月から2025年9月の間に、大阪大学歯学部附属病院および吹田徳洲会病院で顎矯正手術を受けた患者さんと、広島大学病院で顎矯正手術を受けた/受ける予定の患者さん。
意義・目的	MatrixORTHOGNATHIC LOCK システム、略して MOJ システムは、日本で開発されました。チタン製のミニプレートとスクリューで構成されていますが、プレート形状のバリエーションにより、セミリジッド固定からリジッド固定まで様々な固定が可能です。このように、MOJ システムはさまざまなタイプの顎矯正手術 (OGS) に有用なシステムですが、MOJ システムの臨床的利点の証拠はまだ報告されていません。本研究の意義は、MOJ システムの臨床データを蓄積し、手術の精度、骨格安定性および顎関節の病態に対する MOJ システムの効果などを臨床的に評価することです。
方法	本研究は、診療録 (カルテ) 情報と既存の資料を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別等の患者情報です。 また、治療の過程で撮影した CT 画像やほかのレントゲン画像を用います。 取得した情報から、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。 上述のように誰のものか分からないように加工された情報を、郵送あるいは手渡しによって、共同研究機関である大阪大学および吹田徳洲会病院から提供され、広島大学で解析を行います。
研究の実施体制	研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科口腔外科学 教授 相川友直 共同研究機関 大阪大学大学院歯学研究科口腔外科学第一教室 助教 横田祐介 吹田徳洲会病院歯科口腔外科 部長 樋口将隆
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科口腔外科学 教授 相川友直
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご

安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

広島大学大学院医系科学研究科口腔外科学

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5703

広島大学病院口腔顎顔面再建外科 助教 植月 亮